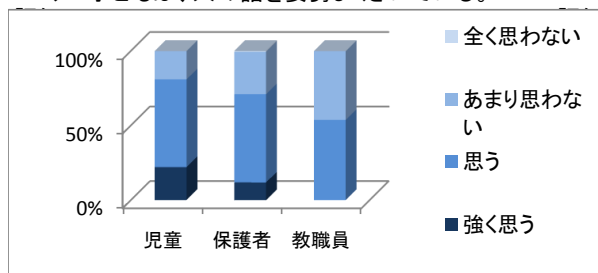


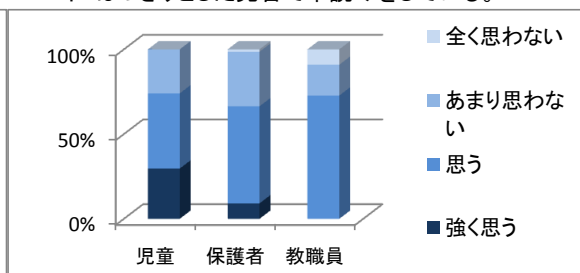
平成24年度 第1回学校評価アンケート 集計結果

学校評価アンケートの御協力ありがとうございました。以下のように集計し、結果をまとめましたのでお知らせします。

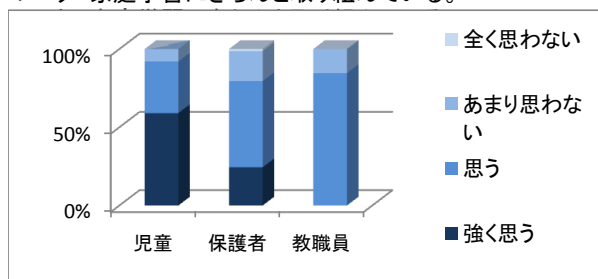
1ーア 子どもは、人の話を姿勢よくきいている。



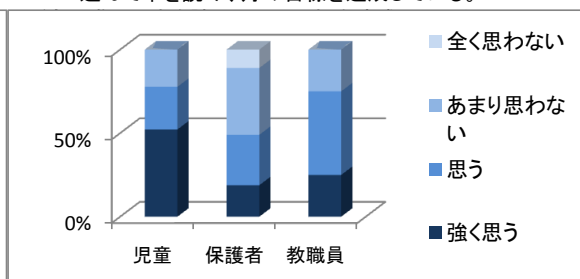
1ーイ はっきりとした発音で本読みをしている。



1ーウ 家庭学習にきちんと取り組んでいる。

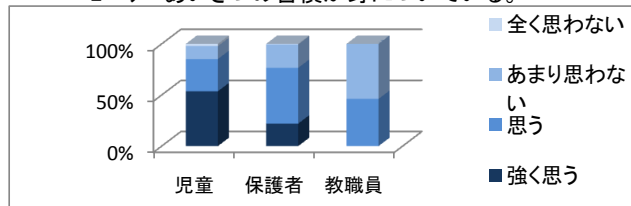


1ーエ 進んで本を読み、月の目標を達成している。



・森小学校の「学習の基礎」として重点には「しっかり聞く」「はっきり話す」があります。昨年度から継続して指導し、定着してきています。指導には、聞く姿勢を整えることやわかりやすく話すことの他に、互いの意見を認めたり、友達同士の考えをつなげて学

2ーア あいさつの習慣が身についている。

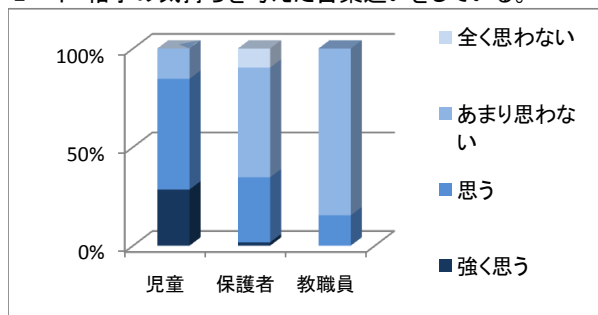


習を深めたりしています。少しずつ授業や活動の中で積極的に発表しようとする子やじっくり考えて課題解決しようとする子が増えてきました。子ども同士の温かい人間関係づくりや雰囲気づくりを基盤にして学年、学級の運営に努めています。一生懸命に学ぼうとする姿勢を褒め、常日頃からまじめに取り組むことの大切さを子どもたちに話しています。日々の小さな成長を見逃さず指導していきたいと思ひます。

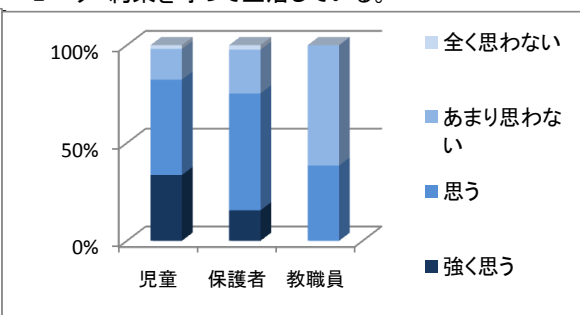
・家庭学習について、子どもや保護者、教師それぞれの評価は「思う・強く思う」と答える人の割合が昨年度に比べて伸びています。これは、家庭学習の習慣化が感じられ、「きちんとやるべきもの」という意識が子どもに高まってきています。年度当初、家庭学習の目安や意義をお伝えしましたが、「家庭学習の大切さ」や「よりよい子どもへの声の掛け方」など、2学期からお便りにして配布していきます。参考になると思ひますので、ぜひお読みください。

・読書活動では、読書タイムや月に1度の読書の時間は子どもにとって本への親しみや読書のきっかけづくりとなっています。御家庭でも「読書の日」として、本を話題にしてコミュニケーションを図るのも楽しいと思ひます。今、お子さんはどんな本に興味をもっているのか分かります。本年度は読書ボランティアの方々の御協力に加えて、県の事業として図書館活用支援員の配置がありました。さらに充実した図書室の環境整備に努めています。

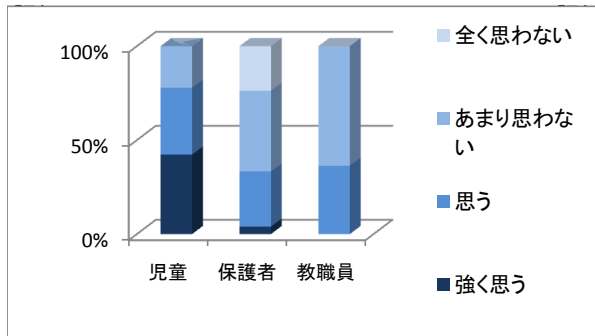
2ーイ 相手の気持ちを考えた言葉遣いをしている。



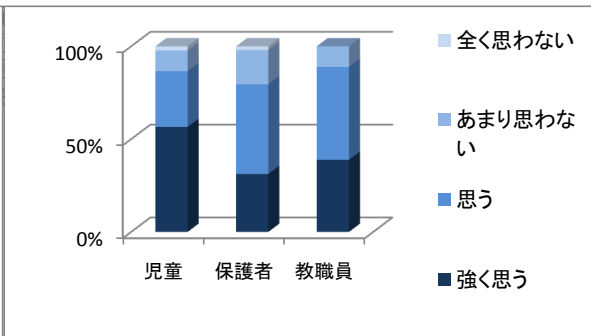
2ーウ 約束を守って生活している。



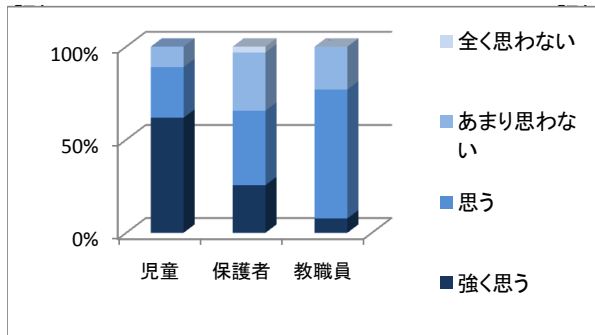
3ーア 自分で決めた生活リズムに気がつけている。



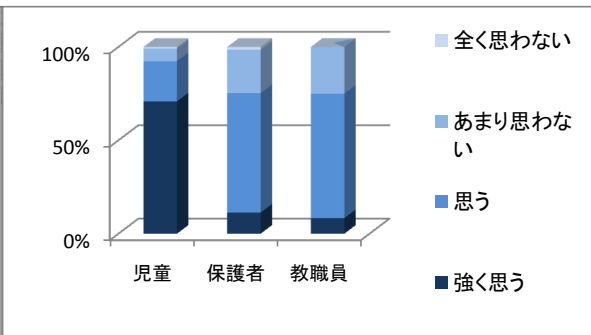
3ーイ 学校や家庭で体を動かしている。



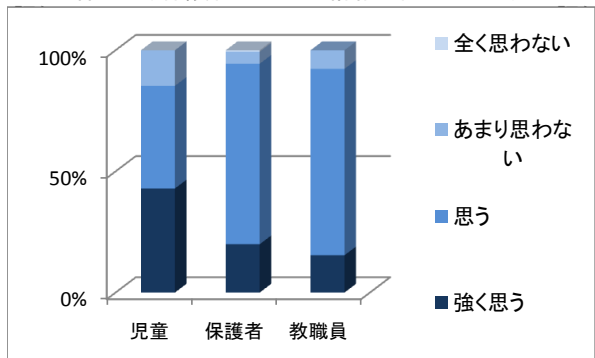
3ーウ 給食(食事)を残さず食べ終わっている。



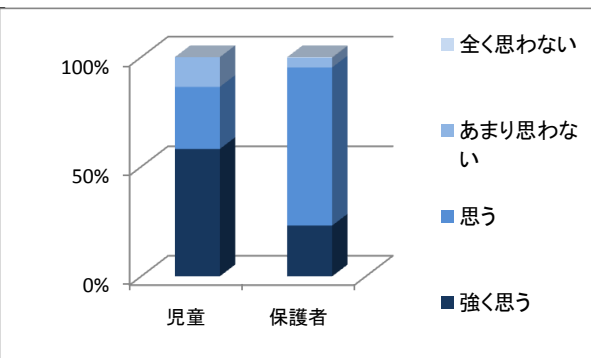
4ーア 学校で楽しく生活している。



4ーイ 森小は、保護者や地域に情報公開している。



4ーウ 森小は子どもの力を伸ばすために教育活動を工夫している。



・学習活動と同様に日々の様々な教育活動の場で「考えて行動する」ことの大切さを指導しています。人に言われたから行動するのではなく、「自分に（自分たちに）、何ができるか」を問い掛け、行動しようと取り組んでいます。

・あいさつ運動では、計画委員会を中心に相手に気持ちよくあいさつができるよう、笑顔で「きらきらあいさつ おはようございます。」と昇降口に立ってあいさつを行っています。そこで、あいさつをどのようにしたら気持ちのこもったものになるか子どもたちが話し合い決めました。自分たちでよりよい森小にしていこうとする表れだと思います。

・言葉遣いについては、グラフが示す通り、決してよい言葉遣いとは言えません。これは、生活の中で子どもに言葉や言葉の使い方を教えていくと同時に私たち大人が範を示す必要があります。やはり低学年の時期が大切です。

・体づくりの面では、規則正しい生活リズムの確立を重点に運動と食育について力点を置いてきました。全体としては1学期の欠席率は低く、みんなが元気に登校できる日が多くありました。2学期を迎え、まだまだ暑い日が続きます。充実した教育活動の源は、子ども一人一人の健康が第一です。今後も御家庭や地域に御理解と御協力をいただきながらさらによりよい森小学校、安心安全な森小学校をつくっていきたいと思います。よろしくお願いします。

文責：萩原